

1/30
日経

高浜3、4号機8、10月停止

テロ対策施設11月末完成

関電発表

関西電力は二十九日、高浜原発3、4号機（高浜町）でテロ対策となる「特定重大事故等対処施設」

（特重施設）の完成が期限に間に合わないため、3号機を八月に、4号機を十月にそれぞれ停止させると発表した。●関連③面

させる方針を決定。停止に追い込まれるのは九州電力川内原発1、2号機（鹿児島県薩摩川内市）に続き全国二例目となる。関電によると、十一月末に特重施設を完成させ、3号機は十二月、4号機は来年二月の運転再開を目指す。関電は昨年四月の時点で高浜3、4号機の特重施設の見通しを示したが、作業

の効率化などで完成遅れを3号機で約四カ月、4号機で約二カ月に短縮する。一基が停止すると、代替の火力発電の燃料費で月四十五億円の収益悪化になるという。夏場などの電力需要について関電の担当者は「確実に供給力を確保する」とした。特重施設は、原発に航空機を衝突させるなどのテロ行為を想定し、遠隔操作で

原子炉を冷却させる装置などを備える。東日本大震災後の新規制基準により、原発本体の工事計画が認可されてから五年以内に設置するよう義務化された。

（今井智文）